

白井 寛一

(二十年勤続)

関戸 岩雄

園部 通

(十五年勤続)

鈴木 庸正

西浦 幸男

山本 政雄

亀田 福裕

(十年勤続)

堀内 政雄

佐藤 季秋

松川 稔

(五年勤続)

若林 武一

平井 徳昌

遠藤 匡彦

市川 安

小俣 留男

都倉 士郎

天野 重雄

山口 一郎

高田 良子

中野 勉

渡邊 孝義

志村 繁

猪狩 眞三

青池 敬子

加藤 文梧

小林 立夫

天野 元芳

廣瀬 愛子

都倉 鍊三

中村 英一

小林 邦英

針生 安夫

小林 信二

宮澤 明

中村 甲男

萩谷 芳次

橋本 好郎

廣瀬 弘幸

奥脇 保平

長田 宗一

長田 和夫

相馬 紀夫

上野 仁

志村 茂

奥秋 皎明

小笠原 收

長田 守男

小幡 廣巳

(有) ティーケイコーポレーション

(敬称略)

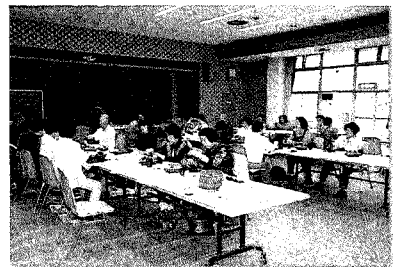
「緑あふれる家庭とまち」をテーマに三つの教室が開催されました。参加された方々は、「さっそく家で役にたつわ」と声をそろえて満足げな表情を浮かべていました。この教室は来年も開催する予定です。



ガーデニング教室



フラワーアレンジメント教室



鉢で楽しむ山野草教室

県民緑化まつりも盛大に開催

国土の六十七％を占める森林は、針葉樹、落葉広葉樹、常緑広葉樹など多様な樹木でおおわれ、人々の生活に様々な形で恩恵をもたらしています。

一方、世界に目を転じると、毎年本州の約半分の面積(1130万ha)の樹木が伐採され森が消失しています。緑豊かな森林は、土砂崩れや洪水を防ぐ国土保全、水資源の安定供給、保健・文化・教育的活動のための場所提供、緑の景観維持、地球温暖化防止のための二酸化炭素の吸収・貯蔵などの役目を果たしながら、われわれにその恵みを与えてくれます。

こうした中、緑に親しみ、緑を考え、緑を育てることの重要性や必要性を啓発することを目的に、四月二十九日のみどりの日に楽山球場で「緑とすこそう楽しい未来」をスローガンに、平成十一年度県民緑化まつりが天野知事を始め多くの方々参加をいただき開催さ



記念植樹する小林市長と緑の少年少女隊員

れました。

記念式典では、新設の「緑の少年少女隊」に隊旗が渡された後、二〇〇一年に山梨県で開催される第五十二回全国植樹祭に向け、三年間で二十一万本の苗木を植栽する「二十一万本植樹運動スタート」の宣言がなされ、天野知事が県の木「かえで」、白井県議会議長が「シラカシ」、小林都留市長が「ケヤキ」を記念植樹し、同時に一般参加者も「ハナミズキ」、「サツキ」、「モミジ」など七百本以上を楽山球場周辺に植樹しました。また、午後からは球場内のおま



最後はやっぱりこれであったまらなきゃ・・・豚汁でした



緑の少年少女隊員も慣れない手つきでしたがたくさん植樹しました

つり広場で、ふるさと市、木工教室、綿菓子、ポップコーン、豚汁サーブスなどの催し物のほか、都留文大マンドリンクラブ、ウインドアンサンブル都留の演奏会なども行われ、多くの家族連れでにぎわいました。